

家老山 糸沢

斎藤美和子

- 山行年月日:2020年12月6日
- メンバー:大竹尚子、国分勉、
小沼充範、斎藤美和子、増田寿代
- コースタイム:糸沢林道 8:00～尾根取り付き 9:20～山頂 11:15-11:30～尾根取り付き点 13:20～糸沢林道 14:10



初雪登山は田島の糸沢にある家老山である。田島駅に集合。小沼さんは後から合流予定。

荒海駅から羽塩沢に沿った林道を進む。奥の方まで伸びているがかなりあれている。二岐のところまで行けず、橋を渡ったところに駐車。結構寒い。歩き始めると身体が温まる。林道はさらに荒れて終点近くは岩だらけであった。砂防ダムが埋まっており、近くで作業する道具が置いてあった。

ここから尾根にとりつく。急な斜面で岩も出てくる。岩は、はがれやすく慎重に進む。尾根に出て一安心。尾根にのると踏み跡がある。藪もほとんどなく幸せ。急な尾根であり、国分さんがなたで杖を作ってくれた。急登が続く。途中で

焼けた木が出てきた。雷が落ちたのか。岩場を過ぎると傾斜が緩んできた。ここで1時間遅れの小沼さんが追いついてきた。尾根の向きが変わり遠くの山が見えるようになる。三岩、燧岳、白根山などが見えた。どんどん進むと、山頂付近には笹が出てきたが、藪は結構薄かった。山頂には、明治大学のプレートがありみんなで三角点を探した。前回来た時には、見つけられなかったので非常にうれしかった。

景色が見えないので少し下がったところでお昼。なんでもないおにぎりがおいしい。下山は早かった。最後の岩場は怖いので小沼さんのおすすめで反対側のヒノキの林を降りた。ばっちりだった。雪はあまりなかったが、いい山であった。皆様ありがとうございました。また宜しくをお願いします。



この山の途中できれいな木の実を見つけた。帰って調べたらツルウメモドキという木であった。一つ知識が増えた。ところでこの山の名前の由来は？